

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 放課後等デイサービス いと			公表日	2026年 3 月 25 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員の急な欠動に対応できる十分な人数を配置できている。 自傷や他害がある子供に対して1対1で対応できている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		入り口に階段はあるが、室内はほぼバリアフリーになっている。 部屋に絵と文字で表示をしている。 靴を入れる場所を個別にわかりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日清掃し清潔を保持している。汚れた時はその都度すぐに清掃している。 体を動かす広いスペースや集中して遊びや療育に取り組める個別の部屋がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンや一人で集中して遊びたいときに認められている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		日々のコミュニケーションと会話の中から問題点を見つけ会議を利用して参画している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		結果を職員全員が把握しておりすぐに改善に向かう手立てを話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日常のコミュニケーションを密にしながら問題点を会議し、参加できていない職員には会議録の閲覧を進めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			現在は利用者と社内の二者評価をとっている。 第三者による外部評価については、現在実施の予定はないが、今後必要に応じて実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		毎月社内研修を行い定期的に社外研修にも参加し資質向上に繋げている。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		皆で現状を把握した後、プログラムが作成されいつでも閲覧することができる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		定期的にモニタリングを行うとともに、送迎時等に保護者の意見を伺うようになっている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画を作成する前に職員で話し合い子どもの姿を把握している。 常に支援計画を閲覧できるようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		児童発達支援計画を共有し、それをもとに日々の療育プログラムを作成している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		社内のアセスメントツールを利用し策定している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童発達支援ガイドラインを理解し、一人ひとりに合った支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		常に話し合いのできる雰囲気、場、時間を設けている。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		個別療育を行う職員が日々変わったり、活動の内容を共有し話し合うことで固定化されないようにしている。 季節に合わせたイベントなどもあり子どもたちが楽しめるプログラムを作成している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		日々の活動においても必ず個別活動と小集団活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		その日の活動内容について全職員が必ず把握し、分担するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎回必ず振り返りを行い、記録に残し休みの職員も見ることができる。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		課題への取り組みや子供の様子について個別に記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		通所支援計画の更新毎に目標と支援内容の見直しを行い、それをもとに次期計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当制で療育を行っていないが、児童発達支援管理責任者をはじめ職員全員がこどもたちの状況を把握しチームでの支援を行っている。会議には児童発達支援管理責任者と指導を担当する職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		保育園とは送迎時や担当者会議などに参加し、連携を取り支援を行う体制を作っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		市で行われる交流会や担当者会議に参加し、情報共有と相互理解を図るようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	7		より高い指導スキルを持つ育成者やスーパーバイザーの研修や助言を受け資質向上に努めている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7			今現在はこどもたちの療育を最優先にしているためやっではないが今後検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		利用後にはアプリを使いその日の活動の様子を伝えている。また送迎時の少しの時間も様子を伝え合うようにしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		参加できる研修があれば案内している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		入所時に必ず行っている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		定期的に対面し、子どもや家族の意向を確認する機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		「児童発達支援計画」を提示し、必ず同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		定期的に行うとともに、希望があればいつでも対応し、面談や必要な助言と支援を行えるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		保護者会イベントでは小グループでテーマから子どもたちの悩みを保護者間で話し合う機会を設けた。 その間きょうだい児も一緒に参加し楽しんだ。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		もし相談や申し入れがあった場合すぐに会社全体で話し合い解決策を考え迅速かつ適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		個人情報に気をつけながらSNSで日々の療育をアップしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管している。また個人情報に関しては社外への持ち出しを禁止とし、守秘義務を守っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		マークや絵・文字など子供に合わせて使い伝わりやすいようにしている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			今現在は子どもたちの療育を最優先にしているためやってはいないが今後検討していきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		職員・家族に周知し訓を行っている。訓練後家族にHUGやインスタグラムで伝えている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画（BCP）を策定し、月に一度、色々な想定で訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		契約時や利用後に起きた場合は保護者の方から状況を聞き、職員全体で把握している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		食事やおやつ提供はないが、契約時にアレルギーの有無を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		マニュアルを作成し、定期的に見直し安全管理を十分に行っている。 毎日の送迎車両点検のためにチェックリストを作成している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		入所時に必ず行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット事例が起きた時は、報告書を作成し、職員間で話し合い情報を共有し再発防止に務めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		マニュアルを作成し、研修会に参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		研修会に参加し職員間で対応を話し合いマニュアルを作成している。 また保護者の方には契約時に説明している。		